

今号のINDEX

- ・ 再生医療の業界団体「FIRM」が産業化実証拠点の設置を決定！ p 1
- ・ 京浜臨海部立地企業のご紹介 地域に根差した工場を目指して... キリンビール(株) 横浜工場 p 2
- ・ 横浜発！ 京浜臨海部で企業連携によるエネルギー融通が始まります p 3
- ・ 羽田空港の深夜早朝アクセスバスの運行路線・停留所が拡大！ p 4
- ・ 「京浜臨海部立地企業動向調査」へのご協力、ありがとうございました p 4

再生医療の業界団体「FIRM」が産業化実証拠点の設置を決定！ - 川崎区殿町の「ライフイノベーションセンター（仮称）」進出決定第 1 号 -

神奈川県では、横浜市・川崎市とともに、平成 23 年に国の指定を受けた「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」により、医薬品・医療機器産業の活性化による経済成長や、ライフイノベーションの実現に向けた取り組みを推進しています。

この取り組みの一環として、県では、ライフサイエンス産業の集積が進む特区内の川崎市川崎区殿町区域において、「ライフイノベーションセンター（仮称）」の整備を民間との共同プロジェクトとして進めています。ライフイノベーションセンターは、新しい医療であり、今後大きな成長が期待される「再生・細胞医療分野」の実用化・産業化の拠点として、研究開発から事業化に向けた取り組みを推進することを目的とした施設です。

このたび、全国で 120 社以上が加盟する再生医療分野の業界団体である一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）が、このライフイノベーションセンター内に再生医療の産業化実証拠点を設置することを決定しました。

FIRMでは、研究支援、迅速な製品化、次世代の治療用細胞生産システムの開発をはじめとする様々な機能を集め、再生医療の実施に必要な材料・装置等をワンストップで提供できる拠点づくりを目指しており、今回のライフイノベーションセンターへの進出計画は、その第一期拠点となるものです。

ライフイノベーションセンターは平成 28 年春完成予定で、FIRMは平成 29 年度内に実証事業を開始する計画です。FIRMの産業化実証拠点の設置により、特区の目標であるライフイノベーションの実現が加速することが期待されます。



ライフイノベーションセンター（仮称）位置図 <川崎区殿町区域>

入居事業者を募集中！

県では引き続き、ライフイノベーションセンターへの入居事業者を募集しています。

再生・細胞医療分野等で幅広い事業展開を目指す、国内外の関連企業・大学・研究所等の入居を想定しています。

詳細は、下記問い合わせ先か、事業パートナーである大和ハウス工業(株) (03-5214-2200) までお問い合わせください。

ライフイノベーションセンター（仮称）整備・運営事業の事業パートナー

問い合わせ先 / 神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進局 館（たて） 電話：(045)210-2725

京浜臨海部立地企業のご紹介

地域に根差した工場を目指して... キリンビール(株) 横浜工場

「かながわ京浜臨海部ニュース」では、京浜臨海部に立地する企業や、そこで働く人々をご紹介します。
今回お邪魔したのは、横浜市鶴見区生麦に立地するキリンビール株式会社 横浜工場。京浜臨海部では珍しい飲料工場ですが、現在地への立地は1926(大正15)年と、最古株の1つです。

横浜工場では、かねてより様々な地域貢献の取組みを実施していますが、このたびキリンビール全体で新たな地域活性化の企画がスタートすること。横浜工場の醸造長・岡田義宗さんにお話を伺いました。

“横浜らしさ”を感じてください！

キリンビールが新たに始める地域活性化企画とは、どのようなものですか？

「当社の主力商品である『一番搾り』を、全国に9つある工場ごとに、味やコンセプトを変えて地域限定で発売します。横浜工場で生産する『横浜づくり』は、私が味や香りの監修を行いました」

工場ごとに味を変えるとというのは面白いですね。どうして今回の企画が生まれたのでしょうか。

「1つは、少子高齢化・人口減少でビールを飲む人も減っていく中、ビールの美味しさ・楽しさを多くの人に伝えたいということ。もう1つは、地元ならではの商品を生み出すことで日頃の恩返しをし、地域を盛り上げる一助となればという思いからです」

岡田さんの監修された横浜工場バージョンは、どんな味に仕上がっていますか？



県内を中心に5/19から販売予定。工場併設のレストラン「ビアポート」でも飲むことができる。

「一言で言うと、しっかりした味わいと開放的な香りが特長です。まず、工場内のメンバーで横浜のイメージを出し合う中で、横浜には異文化の街ならではの、味が濃い目の食べ物が多いよねという話が出ました。ナポリタンやデミグラスソース、中華街の料理など。そこで、これらの食べ物に合う深い味わいのビールにしようということで、通常の一発搾りよりも高いアルコール分(6%)で醸造しています。」

それから、横浜のイメージの1つとして、『港町』・『潮風』が多く挙がり、香りが大事ではないかと考えました。そこで、ビールの香りといえばホップですが、今回は柑橘系のホップを2種類使い、しかもホップを加えるタイミングを通常より遅らせることで、苦味は出さずに香りだけを生かすことにしました。自信作なので、ぜひ横浜や神奈川県の皆さんに楽しんでいただきたいですね。個人的には、横浜ならではの家系ラーメンにもよく合うんじゃないかと思えますよ」

地元の醸造所としてより定着したい

横浜工場では昨年、新たな設備投資を実施されたそうですね。

「新たな生産設備の導入により、大量生産の主力商品に加えて、小規模醸造のクラフトビールの生産が可能となりました。造り手の顔が見えるような個性のあるビールをお届けし、これまでビールにあまりなじみのなかった方にも手に取っていただける機会が増えればよいなと思います。」

3月にオープンした『SPRING VALLEY BREWERY』では、横浜工場で醸造した6種類のクラフトビールをご提供しています。今後の横浜工場は、ビールの美味しさ・楽しさを発信する拠点でもありたいですね」

最後に、地元横浜や神奈川県への思いをお聞かせください。

「横浜はキリンビール発祥の地であると同時に、日本のビール発祥の地でもあります。我々造り手は、そんな歴史ある横浜の地にいるということを常に意識してビールをつくっていますので、横浜、ひいては神奈川県にお住まいの皆さんにも、『横浜にはキリンビールがあるんだな』と感じていただくと嬉しいです。今回の横浜工場限定商品やクラフトビールの生産開始などをきっかけに、『地元の醸造所』としてより定着し、皆さんと一緒に地域を盛り上げていきたいと思っています」



「ビールづくりで地元・横浜を盛り上げたい」と語る岡田醸造長



横浜工場併設の「スプリングバレーブルワリー横浜」。ビールに関するイベントも開催される。

羽田空港の深夜早朝アクセスバスの運行路線・停留所が拡大！

～横浜駅（YCAT）に加え、桜木町・みなとみらい・川崎からも利用可能に～

羽田空港は24時間運用可能な国際拠点空港として多くの方に利用されていますが、深夜早朝時間帯（23時から6時まで）の利用促進に向けては、空港アクセスの充実が課題となっています。そのため平成26年度には、国土交通省が中心となり、羽田空港と都心ターミナル駅等を結ぶ5路線について深夜早朝バスの実証運行が実施されました。（県内では京浜急行バス株式会社が横浜駅（YCAT）線を運行。本紙平成26年11月号参照）

これを受け、平成27年度以降についても、新たに設置された「東京国際空港の深夜早朝時間帯におけるアクセスバス運行協議会」を運行支援等の実施主体として、アクセスバスの運行が継続・拡大されることになりました。

今年度は都心ターミナル駅等を中心に7つの路線が設定され、神奈川県内では、昨年度から運行されている横浜駅（YCAT）線が、桜木町駅やみなとみらい地区にも停留所を拡大して継続されます。また、川崎駅と羽田空港を結ぶ路線が新設され、川崎方面の深夜早朝アクセスが改善されます。

このほかにも、国内線ターミナルを始発とする深夜バスの新設や、ターミナル間の無料連絡バスの深夜早朝運行など、利用者の利便性向上に向けた取組みが実施されています。深夜早朝時間帯に羽田空港をご利用される皆様は、ぜひご活用ください。

<深夜早朝バス運行概要>（国土交通省資料より）
下線は27年度から新たに運行される地点



<横浜・川崎方面の運行スケジュール>（国土交通省資料等を基に作成）

	羽田空港ゆき	羽田空港から各方面ゆき
みなとみらい 桜木町 横浜駅 (YCAT)	3:35発 横浜ロイヤルパークホテル	1:00発 羽田空港 国際線ターミナル
	3:37発 横浜ベイホテル東急	1:32着 横浜駅(YCAT)
	3:40発 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル	1:38着 桜木町駅
	3:42発 国際橋・カップヌードルミュージアム前	1:40着 横浜ロイヤルパークホテル
	3:50発 桜木町駅	1:41着 横浜ベイホテル東急
	4:00発 横浜駅(YCAT)	1:42着 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
	4:32着 羽田空港 国際線ターミナル	1:45着 国際橋・カップヌードルミュージアム前
川崎 蒲田 大鳥居	3:00発 川崎駅	1:05発 羽田空港 国際線ターミナル
	3:20発 蒲田駅	1:10着 大鳥居
	3:25発 大鳥居	1:25着 蒲田駅
	3:38着 羽田空港 国際線ターミナル	1:40着 川崎駅

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 大橋 電話：(045)210-3255

「京浜臨海部立地企業動向調査」へのご協力、ありがとうございました

神奈川県・横浜市・川崎市で組織する「京浜臨海部再編整備協議会」では、平成26年度事業として「京浜臨海部立地企業動向調査」を実施しました。お忙しい中、アンケート調査・ヒアリング調査にご協力いただいた立地企業の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。調査報告書は協議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。（<http://www.keihin.ne.jp/approach.html>）

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課（協議会事務局） 大橋 電話：(045)210-3255

編集・発行

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 担当：大橋 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0602/>

（お問い合わせは、こちらのホームページ下部の「お問い合わせフォーム」からお願いします。）